

# 第1期の成果を発表

## コクヨ生成AI時代に実践力



コクヨ株式会社(黒田英邦社長、大阪市)は、4月11日、東京品川オフィスの「THE CAMPUS」で、同社の人材教育・実践プログラム「KOKUYO DIGITAL ACADEMY」から生まれた、GPTアイデアの実践経験の場「GPT Lab」の第1期成果発表会を開催した。

同社はデータやテクノロジーの活用による既存の課題解決や新たなビジネスの創出を目指し、スキルの習得と活用に向けたコクヨグループ社員向けのデジタル人材教育・実践プログラム「KOKUYO DIGITAL ACADEMY」を2023年6月に開校。「GPT Lab」はこの取り組みの一環で、講座で得た知識をスキルに転換する実践プログラム。一般的な企業研修では、「研修で学んだことを業務の中で実践できない」という課題が多く見受けられる。この課題に対して「GPT Lab」では、先んじて行った「KOKUYO DIGITAL ACADEMY」の最終課題として、社員が提出した約690件のアイデアから参加チームがテーマを選定。生成AIなどデジタルでの解決を模索しながら、非エンジニアである社員自身が生成AI業務アプリを作成しプロトタイプまで完成させることで、生成AI時代の実践力を身に付ける。

発表会の第一部では、59人の社員が5チームに分かれ、「GPT Lab」第1期(2023年12月〜2024年3月)としてそれぞれが設定した課題解決へ取り組んだ成果を発表。さらに第二部では、社外ゲストとして生成AIに関心が高い企業・法人を迎え、「コクヨの役員だったらGPTで何をするか」をテーマにパネルディスカッションを実施した。

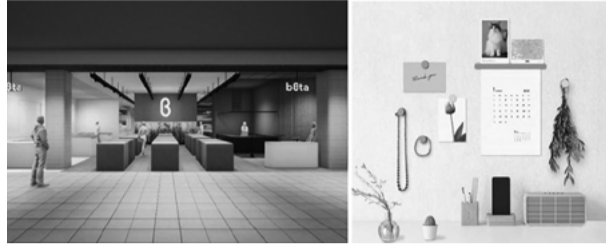
副学長兼カリキュラムディレクターの野口竜司社長は「昨今は技術が飛躍的に伸び、実現できるアイデアが格段に増えて、世の中に出回っている『いい』と『メッセージ』を社員へ贈り、モテたい社員を求めた宮澤典友執行役員は「テクノロジーは日々進歩していく。自身のスキルをアップデートする場として、ぜひこのラボを活用してほしい」とコメント。最後に、成果発表の表彰が行われ、4つのアイデアが選ばれた。

# 体験型ストアに出品

〇…コクヨ…〇  
壁につけるマグネット

コクヨ株式会社(黒田英邦社長、大阪市)は、石こうボードの壁にマグネットがつけられる「壁につけるマグネット」を、埼玉真越谷市レイクタウンの体験型ストア「b8ta Koshigaya Laker Town」(ベータコシガレイクタウン)で、3月1日〜5月31日の期間限定で出品している。

「壁につけるマグネット」は、生活者のより快適な暮らしへの提案として生まれた製品。ホッチキスでベース部分を固定すること



で、壁の損傷を最小限に抑えつつ、マグネットが使える空間を作り出すことができる。2023年11月の発売以降、リビングではお気に入りのポストカードの掲示や家族共有資料の掲示、ワークスペースでは仕事のメモの掲示など、様々なシーンで活用されている。今回は、カードを立てかけられたり、軽量のアクセサリを吊り下げたりすることができ、シリーズに加えられる。今後展開予定のシリーズ商品も実際に手に取って試すことができる。

# 墨運堂「墨の資料館」

テレビニッポン応援団に登場

株式会社墨運堂(松井昭光社長、奈良市)が運営する「墨の資料館」や「永楽庵」が、3月25日放送のテレビ東京の「世界!ニッポン」に登場した。

番組では、書道を楽しむ墨を大切にしている日系4世のチリ女性、窪田タニエラさんが念願かなって訪日。墨運堂の本社に隣接する「墨の資料館」で、墨や書についてレクチャーを受けて知識を深め、本社工場内の「永楽庵」では固形墨のベストセラー「玉品」や特別な墨のシリーズ「百選墨」の試写り体験を行い、「書道と墨の魅力を学びたい」というタニエラさんの夢をかなえた。



テレビ東京の番組で紹介された資料館

# 業界団体名簿を発刊

全支連全国の団体に協力を依頼

一般社団法人全日本文具事務用品団体総連合(宮城邦弘会長)はこのほど「2024文具業界団体名簿」を刊行した。

同名簿は、全文連に加盟する文具小売26団体と関連傘下の組合、個人資格で全文連に加入しているサポート会会員9社、賛助会員(メーカー・卸)36社、文具店の若手経営者を構成メ



2024 文具業界団体名簿

「墨の資料館」は墨がこれまでどのような歴史を刻み、どのように造られるのかを展示し、実際の型入れ作業の現場を目の当たりに見られる。これまで同社が収集して来た書画にまつわる歴史的な資料や作品を一室に展示し、次の世代に引き継がれる書画創作に、なくてはならない筆記具文化を芸術と技の両面から紹介している。



ブース前の西川会長



「永楽庵」では昭和30年の墨から現在までの約180種類の墨を試墨できる。また、同社のロングセラー「墨液」「墨の精」を擬人化したキャラクター柄のマスクングテープ

万博チャリティイベントに出展

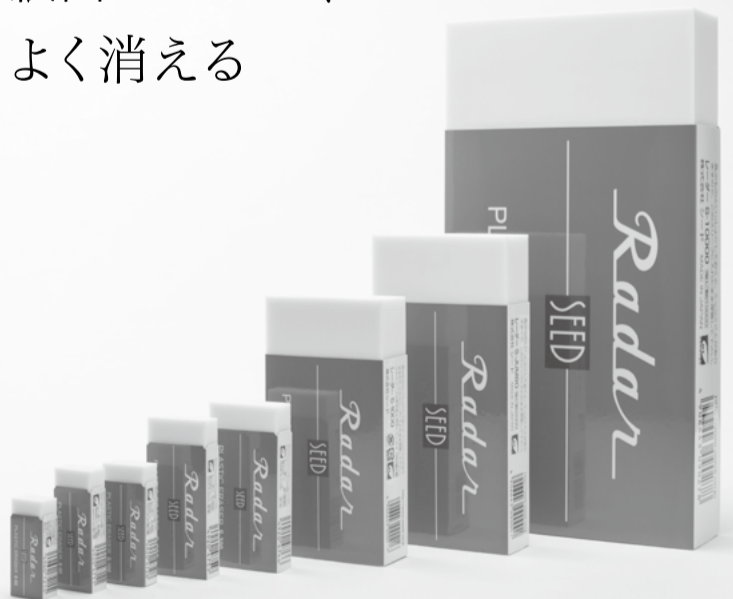
セキセイ株式会社(西川智也社長、大阪市)は、3月29、30日に大阪府中央区の船場センタービル2号館1階で開催した「春のせんびる大創業祭2024」大阪・関西万博機運醸成チャ

スキングテープが登場。続く、第2弾では、看板商品の「墨液 玄宗」をはじめ、液体墨「特選書法一品 濃墨液」、固形墨のベストセラー「玉品」、添削用の「朱液」などを擬人化したキャラクター柄が登場。商品の名称は「マスクングテープ 杏(いち)」。



擬人化したキャラクターデザイン

## 紙面にやさしく、よく消える



Radar SINCE 1968

SEED 株式会社シード | www.seedr.co.jp | 西日本営業: TEL 050 (3160) 2739

# ニッケン文具株式会社

本社 〒577-0013 東大阪市長田中4丁目5番44号  
TEL (06) 6747-7711・FAX (06) 6747-5557

代表取締役会長 徳弘 滋 代表取締役社長 徳弘 恭子



第一支店・第二支店・関西支店  
第七支店・なみはや支店・SRD事業部  
東京支店・関東支店・東支店・名古屋支店  
四国支店・九州支店・札幌支店  
グループ会社 株式会社 エヌケイ深井

(メーカー)は「卸業連盟」から、地区組合に所属する卸(一部卸連加入卸と重複)は項を改めて「地区卸組合」として掲載。さらに全文協、文工連、全紙工などの生産団体や健康組合、業界紙誌などの文具業界関連事業所を網羅した。

A4判158ページ、2200円(消費税、送料込)。全文連会員と地区卸組合の一括購入には割引価格が適用される。

全文連会員以外の購入も可能で、全文連ホームページ (<http://www.seedr.co.jp>) から

## 被災地へ支援 義援金を拠出

株式会社マルアイ(村松道哉社長、東京都)は、3月21日に能登半島地震の被災地への義援金100万円

創作師(東山画風)が創作した純米吟醸酒「雅風」の試飲や販売も行い、試飲した人などが購入していた。

このほか、クリアファイナルマスコット付け金封「アークセサリーケース(赤富士、パネルマット、葛飾北斎インク、軽くて丈夫な

竹素材のボールペン「竹こち、漆芸扇子などを展示してアピールした。

会場では大阪・関西万博のマスコットキャラクター「ミャクミャク」の撮影会を行い、来場した人に万博をPRした。この模様は、テレビ大阪で放映された。

を山日YBS厚生文化事業団に寄託した。義援金は日本赤十字社を通じて被災者の救援と復興支援に役立ててもらった。

同社は東日本大震災が発生した2011年より、対象商品の売上の一部を災害義援金・救済金として日本赤十字社を通じて寄付を行っている。また、大勢で楽しめる巨大なぬいぐるみ「NURIE(ヌリエ)」の無償提供を行い、被災地域の交流の場の活性化や子ども達の遊び場づくりの支援活動も行っている。